

# 大地の風

加美町農業委員会

加美町字長檀75番地2

☎0229-67-5411

第31号

令和4年10月発行



自慢のブームスプレーヤーに乗る  
この人物は一体誰でしょうか？  
答えはP5農家を訪ねてで公開中

## 災害を防ぐ意識を常に持つて

農業委員会会長 板垣文一

この夏、東北地方では各地で記録的な大雨により、土砂災害や河川の氾濫による浸水の被害が相次ぎました。

加美町でも、七月十五日の夜から大雨で土砂崩れや、住宅の浸水、そして農地の冠水などの被害が宮崎東部地区や中新田地区を中心に発生しました。十五日の夜には中新田で一時間に六十三mmというかつて無い程の降雨量を観測しています。農作物への被害は、町の東部地域に集中しており、冠水の被害が水稲で約九〇ha、大豆約四〇ha、そして長ネぎを含めた野菜が八haありました。特に大豆に関しては、湿害による発育不良を含めると一七〇ha程の圃場で被害を受けています。

今回のこの様な自然の災害を経験して、私たちは予想される天候の特徴をあらかじめとらえておくとともに、ハザードマップ等を利用し、災害の大きさや危険度をイメージして対応する力をつけることも必要だと感じました。そして台風や異常気象に対しては完全に防ぐということはできませんが、被害を最小限に抑える為の日常的な意識や対策もまた、農作物を災害から守る意味も含めて大事だということを改めて感じた夏だったと思います。

## トピックス

P2

- ・さつまいも植え
- ・大地の風全国表彰

P3

- ・新任委員の紹介

P4

- ・活動報告

P5

- ・農家を訪ねて  
in 鶯沢
- ・農地パトロール

P6

- ・農活雑感
- ・編集後記

食農教育推進事業♥JA 加美よつば共催

# さつまいも植えました



中新田保育所 5/30  
みやざき園 6/1  
おのだひがし園・にし園 6/3



おいもにつちの  
おふとんをかけて、  
やさしく、やさしく  
トン、トン、トン…



恒例の園児達によるさつまいも植付けが行われました。今年は雨間を縫っての活動になりましたが、園児達の元気の良さを太陽も応援してくれた様で空から見守ってくれました。

当日、園児達は元気に並んで登場！先生方や農業委員のお話もちゃんと聴いてお利口です。

農業委員が苗の植え方を指導し、園児達に苗を手渡すと興味津々で苗を観察し、『土ってふかふかであったかいね！』などと言いながら、小さな手で要領良く優しく植えていってくれました。

用意した苗はあっという間に無くなり園児達は黄色い声を残し園に戻って行きました。あまりに順調で早く終わった為に寂寥感すら覚えてしまいました。

『土のおふとんで大きく育てね』『焼きいもにしてたくさん食べるよ』と期待いっぱい目にキラキラさせて話してくれた姿がとても印象に残っています。

収穫の時が楽しみです。

取材：農業委員 三浦 良人

## 加美町農業委員会だよりが全国農業新聞賞を受賞しました

令和3年度第28回「農業委員会だより」全国コンクールにおいて、加美町農業委員会だより「大地の風」が「全国農業新聞賞」を受賞し、令和4年5月31日に表彰されました。受賞号の広報編集委員長から喜びの声をいただきました。

今回、加美町農業委員会の広報誌「大地の風」が宮城県を代表して全国表彰されました。

コロナ禍によって活動制限される中、農業委員会の定例会以外の参加、研修会、行事に子供達との交流、若手農業者の農業情報も交え紹介してきました。事務局より応援いただきながら編集委員全員で案を巡らせ、それぞれ自分の担当ページを決め、関連文章を担当委員にお願いする事から最終のチェックまで4～5回の広報委員会開催されます。ほとんど事務局で作成する委員会もある中、自主的に作成する「大地の風」は編集委員の方々の熱意と農業委員の皆さんの協力が欠かせません。

編集委員の取材活動を通して農業のICT化へ理解が進み、将来の農業像が見えたように思います。新技術を搭載した農業機械の操作技術を必要とされる中、それが若者の農業への入り口になればと思います。

大地の風が今の形に定着されるまで歴代編集委員会の方々の努力があり、その積み重ね無くして今回の表彰はなかったと思います。ありがとうございました。



受賞号の編集長で、現在  
会長職務代理を務める  
小山 京子委員

# 新しい農業委員と農地利用最適化推進委員を紹介します

農業委員会では今年4月、欠員となっていた農業委員2名と農地利用最適化推進委員4名の公募を行いました。令和4年6月1日、農地利用最適化推進委員3名に農業委員会より委嘱状を交付しました。また、農業委員2名については6月定例議会で議会の同意をいただき、6月27日、加美町長より辞令が交付されました。任期はどちらも令和7年3月31日までです。

## 農業委員（農地）



⑭佐藤 健喜（四日市場沖）

四日市場沖・下狼塚・雑式の目・平柳

加美町の基幹産業を生み出すすばらしい農地を後世に引き継げるよう、諸先輩にいろいろと教えていただきながら農家の方々に寄り添った活動に努めていきたいと思います。

## 農業委員（農政）



⑬坂上 昌哉（南町）

下野目・中嶋・月崎・北区

この度農業委員となりましたが、農家としての経験も浅く、農地をめぐる現状についても勉強不足です。諸先輩方のご指導を仰ぎながら、委員としての責務を果たせる様精進してまいります。

## 農業委員（所属委員会） 農地利用最適化推進委員



議席番号 氏名（行政区）

担当区域

新しい仲間ができたよ！  
農業委員2人と農地利用最適化推進委員が3人だよ。  
今回はみんな新人さんだよ。期待いっぱいだよ〜ご🌸

## 農地利用最適化推進委員



澁谷 涼子（袋）

賀美石

食と農と命を守る大切な農地は、担い手不足や自然災害と、問題が山積している今日です。農業委員会の一員として、私達の農地を守る為、行動を共にして行きたいと思います。

## 農地利用最適化推進委員



佐藤 繁（下小路1）

宮崎

担い手への農地利用の集約化や、遊休農地の発生防止及び新規参入者への就農支援について、農業委員と共に、活動して参ります。農家の皆様のご理解とご協力をお願い致します。

## 農地利用最適化推進委員



長沼 一弥（下野目）

東小野田

この度、加美町農地利用最適化推進委員を委嘱されました。地域に合う農業、持続可能な農業を考えながら活動をしていきます。今後ともよろしくお願いたします。

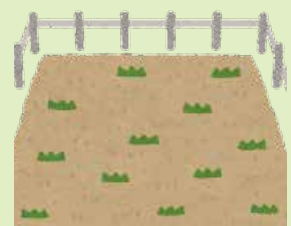
## 農地 Q & A

**Q** 複数人で所有している農地の持ち分を手放したいです。私自身は会社勤めをしており、今後農地を活用する予定もありません。共有名義の方に譲るためにはどうすればよいですか？

**A** 農地又は採草放牧地について、農地のまま所有権を移転する場合は農業委員会の許可が必要で、農地の所有権を渡す相手は農業者でなければならないという条件があります。

ただし、共有持ち分に限りその持ち分を放棄することで他の共有者へ農地のまま持ち分を移転することができます。

この「持ち分放棄」であれば農業者でない方にも移転は可能ではありますが、移転登記は共有者との共同申請となりますので、他の共有者に協力してもらう必要があります。



# 農業委員会活動報告

## みやぎアグリレディス21 通常総会・研修会 ～農業における男女共同参画の推進の講話を聞いて～

令和4年  
6月22日開催

国民生活に必要な食料を供給する機能とともに国土保全等の多面的機能を有する農林水産業を支え、また、発展させていく上で、女性は重要な役割を果たしている。しかしながら、農林水産業の就業者数が減少し続ける中で、基幹的農業従事者に占める女性の割合は低下傾向にある。都市部への女性の流出が続き農山漁村への還流は少ない。農林水産業の「発展」への人材の呼び込みのためには、女性が働きやすく暮らしやすい農村にすることが重要であり、女性が地域の方針策定に参画し、女性の声を反映させていくことが必要だと思う。移住や定住、地域おこし協力隊などで農山漁村との関わりを志向する都市部の女性が増えている。例えば農業においては、親元就農や結婚とともに就農するだけでなく、雇用就農や新規参入もみられるなど、女性の農林水産業への関わり方は多様化しており、それぞれの形態に応じたきめ細かな支援が必要である。農村漁村基本計画等に基づき地域をリードし、女性が働きやすい環境を整備し、行動の変革に向けた取り組みと推進をしてまいりましょう。

取材：農業委員 佐藤 とも



## 農業委員会研修会 ～人・農地プラン～

令和4年  
8月25日開催

「人・農地プランの現状と農業委員会に求められる役割について」と題して研修会を東北農政局経営・事業部の田口一哉氏を講師に迎え開催、参加させていただきました。

喫緊の課題である農村部の高齢化や人口減少の本格化により農業者の減少や耕作放棄地の拡大により地域の農地が適切に利用されなくなることが懸念される中、農地が利用されやすくなるよう、農地の集約化等に向けた取組を加速化するとして基盤法等の改正法が令和4年5月に成立しており令和5年4月



熱心に説明する田口氏（右）と懸命に耳をかたむける農業委員

施行されることから加美町でも旧町単位で策定されている人・農地プランを土台に更に小さな地区単位で「協議の場設置」・「地域計画の策定」・「計画を実現するための実行」をしていくものとして今後、関係機関（県・町・農業委員会・農地バンク・JA・改良区・再生協議会）と連携し地域の農業者のみならず関係者を含め協議し地域計画の策定および目標地図の作成にあたっていくものと説明受けました。私自身、農家・農業委員として携われる部分に助力できればと思いました。

取材：農業委員 青木 拓也



## 農家を訪ねて in 鶯沢

今回ご紹介するのは・・・

お名前：<sup>ふじ</sup>藤 <sup>わら</sup>原 <sup>やす</sup>靖 <sup>のり</sup>基 さん

昭和58年2月20日生 39歳



自慢の愛車ブームスプレーヤーをバックに  
取材：農業委員 高橋 秀生

高校卒業後は、会社勤めをしながら、農繁期には手伝ってきました。20年を節目に会社を辞め、昨年からは専業農家として従事し、水稲3ha、大豆12ha、ホールクローブ10haを経営しています。

藤原さんに話を聞くと「就農して、大変な農作業は草刈り。また、天候によって、管理面、収穫量が左右されることを実感するとともに、農業の厳しさを知ることができました。特に今年は農薬、肥料、資材の高騰、さらに大雨の影響で大豆の生育が悪く今後どうなるのか心配です。でも農業はやりがいのある仕事なので、集落のみなさんや父の指導をもらいながら、スマート農業に取り組み規模拡大を図りたいと思っています。」と語ってくれました。

今後さらなる発展と活躍に期待したいと思います。

### 農地の権利移動・設定・転用等の状況

(令和4年2月～令和4年8月)

項目	事由	件数	面積 (㎡)	
農地として利用するための移動 農地法第3条許可	所有者移転	売買	2	4,308
		贈与	10	52,802
		小計	12	57,110
	賃貸借権の設定	4	16,629	
	使用貸借権の設定	1	8,453	
	合計	17	82,192	
賃貸借の解約 (農地法第18条通知)		17	75,285	
農地として利用するための移動 農用地利用集積計画	所有権移転 (売買)	18	65,084	
	利用権の設定 (賃貸借)	103	878,786	
	利用権の設定 (使用貸借)	3	108,500	
	農地中間管理機構	3	31,763	
	合計	127	1,084,133	
農地の転用 農地法第4・5条許可	自己転用	2	3,745	
	権利移転を伴う転用	24	28,657	
	合計	26	32,402	

### 農地パトロールを行いました 7/27・7/28・7/29

農業委員会  
活動報告

農業委員会では毎年、農地利用の適正化及び遊休農地確認調査を実施して、荒廃農地の発生予防等、農地利用状況調査を行っており、本年度も、各地区毎に実施しました。

米価低迷・農業資材の高騰・地権者の高齢化等耕作放棄地になりえる条件下、毎年の調査・適正化の推進の結果、除草管理や有休農地解消等、ご協力をいただき誠に有難うございます。

今後、地権者への状況報告及び利用意向確認を行いますので委員が訪問の際は、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

取材：農業委員 星 榮喜



国を守る、国民を守る、大変重要なことでもあります。オスプレイ、戦闘機も必要なことですが、しかし、国民の食料を確保することが最も重要なことではないでしょうか。

日本には四季があり、豊かな農地、そして水も豊富にあります。そんな日本の農地がどんどんと荒れ果ててゆく、また農業を営む人がどんどんと減ってゆく現状を国をリードする人達はいったい何を見て何を感じているのでしょうか。刻々と変化してゆく国内外、また自然災害も巨大化し猛威をふるっている昨今、我々の未来をどのように創造すればよいのでしょうか。

まずは、儲かる農業から始めましょう。農業として農村社会を維持、継続していくために、自由生産、自由販売のもとで自由な発想とヒューマンネットワークにより、高品質で付加価値の高い生産と販売力で、儲かる農業を実現しましょう。「農業に夢をー」

## 編集後記

梅雨あけ宣言後の梅雨入り・・・  
記録的な雨量に驚きました。カエルやセミたちもいつ鳴いたらいいのか？戸惑ったことでしょう。

物価高騰に続き自然災害による大打撃。早期改善を願うばかりです。それでも、うれしいニュースもあります。新しく地域おこし協力隊OBの方が農業委員に加わってくれました。前例のないことです。

ぜひ『大地に新しい風』を吹かせていただきたい！末尾になりましたが、今回の災害で被害を受けた方々に心からお見舞い申し上げます。

副編集委員長 畠山 智史



\*\*\*\*\*

農業委員の活動をチェック

\*\*\*\*\*

## 全国農業新聞

農業者の立場に立って編集・発行している農家のための情報紙です！

- ◎発行日 毎週金曜日
- ◎購読料 月額700円(税込)
- ◎発行所 全国農業会議所

※購読の申し込みは農業委員会へ

### 編集委員

委員長	中村 貴美子
副委員長	畠山 智史
委員	佐藤 とも
委員	高橋 秀生
委員	青木 拓也
委員	三浦 良人
委員	尾形 明

加美町農業委員会事務局

☎0229-67-5411

## 農業者の未来を支える農業者年金

農業者年金がさらに便利になりました!!

～より加入しやすく・生活設計に応じた年金受給～

**ポイント 1** 若い農業者が加入しやすいよう保険料は自由に選べます

(35歳未満の方は、月額1万円から加入できます)

※認定農業者に該当しない等の一定条件を満たす方

**ポイント 2** 農業者年金の受給開始時期の選択肢がひろがりました

(年金の受給開始時期を、ご自身で選択できます)

農業者老齢年金:65歳以上75歳未満

特例付加年金:65歳以上(年齢上限なし)

※昭和32年4月2日以降に生まれた方が対象

**ポイント 3** 農業者年金の加入可能年齢が引き上げられました

(国民年金の保険料納付済期間が480

月に満たない60歳以上65歳未満の方

も加入できます)



問い合わせは農業委員会、お近くのJA加美よつばまで